

## 平成 29 年度認知症地域支援体制づくりの状況

(平成 30 年 3 月現在)

地域包括 支援センター	認知症カフェ (カ所)		認知症サポーター 養成講座 (回)		※徘徊SOS 登録件数 (件)
	包括主体	各団体主体	包括	各団体	
健楽園地域包括 支援センター	1	0	4	4	23
地域包括支援 センターつくし	0	2	0	7	15
永寿荘地域包括 支援センター	0	1	1	0	7
鶴岡市 社会福祉協議会 地域包括支援センター	0	4	8	23	42
しおん荘地域包括 支援センター	0	0	5	0	8
地域包括支援 センターふじしま	0	2	6	0	10
地域包括支援 センターかみじ荘	0	0	2	0	3
地域包括支援 センターあさひ	1	0	1	1	1
地域包括支援 センターあつみ	0	0	0	1	4

※平成 30 年 3 月現在の『鶴岡市徘徊SOSネットワーク「ほっと安心」見守りネットつるおか』登録者状況

認知症について理解を深め、認知症の人や家族が思いや情報を共有し合う場づくりを推進することは、認知症高齢者の増加に伴い、今後ますます重要になってくる。

認知症カフェや認知症サポーター養成講座は、市民やグループホーム、企業などの各団体が運営主体になっているところもあり、地域によって異なる状況である。健楽園とあさひでは、認知症支援体制づくりとして、認知症カフェの取組みに力を入れている。

認知症支援体制づくりについては、地域包括支援センターだけで取組むことは難しいため、地域ケアネットワーク会議等の機会も活用し、地域ぐるみで今後の取組みについて検討が必要。